

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 313

福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室(TEL.092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

1. N1RJEユーザ名の変更について..... 1
2. 利用者講習会の開催について..... 4

### 1. N1RJEユーザ名の変更について

九大センターでは4月1日よりN1RJEユーザ名を従来のRJEnnnn から各大学のホスト名に変更して運用しています。

新ユーザ名は以下の通りです。

学 校 名	新N1RJEユーザ名	旧N1RJEユーザ名
北海道大学	HOKKAIDO	RJE1001
東北大学	TOHOKU	RJE2001
東京大学	TOKYO	RJE3001
名古屋大学	NAGOYA	RJE4001
京都大学	KYOTO	RJE5001
大阪大学	OSAKA	RJE6001
九州大学	KYUSHU	RJE7001
東北大学	TOHOKU1	RJE2901
東京工業大学	KODAI	RJE3461
東京工業大学	NKODAI	RJE3561
筑波大学	TSUKUBA	RJE3143
名大プラズマ研	PLASMA	RJE4100
金沢大学	KANAZAWA	RJE5040
島根大学	SHIMANE	RJE5300
岡山大学	OKAYAMA	RJE6401

学 校 名	新N1RJEユーザ名	旧N1RJEユーザ名
徳 島 大 学	TOKUSIMA	RJE6900
長 崎 大 学	NAGASAKI	RJE7016
山 口 大 学	YAMAGUTI	RJE7009
福 岡 大 学	FUKUOKA	RJE7056
広 島 大 学	HIRODAI	RJE7007
西南学院大学	SEINAN	RJE7500
琉 球 大 学	RYUKYU	RJE7600
九州工業大学	QKODAI	RJE7002
九州産業大学	QSANDAI	RJE7054
愛 媛 大 学	EHIME	RJE6601
九州芸術工科大学	QGEIDAI	RJE7005
鹿 児 島 大 学	KAGOSIMA	RJE7006
九大応力研	OKEN	RJE7008

## 1. ジョブの依頼

九大センターにジョブを依頼するには次の2通りの方法があります。

- (イ) N1RJEでRJEジョブとしてバッチジョブを依頼する。
- (ロ) NVTで九大センターのTSSセッションを開設し、TSSよりFIBジョブ(SUBMIT)としてバッチジョブを依頼する。

## 2. ジョブの取り出し

N1RJEでジョブを取り出すには出力しようとするジョブの出力先が自ホストに向けられていなければなりません。従って上記で依頼したジョブをN1RJEより取り出すには出力先を自ホストに変更してやる処置が必要です。

(イ)で依頼したRJEジョブの出力先は入力元(自ホスト)と同じになっていますので、そのままN1RJEで取り出せます。

(ロ)で依頼したFIBジョブの出力先は九大センターになっていますので、そのままではN1RJEで取り出すことができません。出力先を自ホストに変更してやるためにはTSSのOUTPUTコマンドを用います。

OUTPUT ジョブ名 DEST(ホスト名) NEWCLASS(出力クラス)

これでジョブの出力先が自ホストになりますので、N1RJEで取り出すことができます。

ただし、(ロ)で依頼したFIBジョブのジョブ制御文にROUTE文を挿入しておけばジョブの出力先は自ホストになりますので、そのままN1RJEで取り出すことができます。次の2行をJOB文の直後に挿入してください。

/\* ROUTE PRINT ホスト名

/\* ROUTE PUNCH ホスト名

### 3. 使用例

TSS で依頼した FIB ジョブを NIRJE で取り出し可能にする 2 つの例を示します。下線を施した部分が利用者による入力です。

#### (1) OUTPUT コマンドを用いる方法

NVT で九大センターを呼び出す

```
LOGON TSS Fnnnn/##### ..... TSSセッションの開始
:
:
READY
EDIT TEST.CNTL NE ..... ジョブ制御文の作成
INPUT
00010 //FnnnnA JOB #####, CLASS=A
00020 //EXEC FORT77, STEP=CGO
00030 //FORTCGO.SYSIN DD DSN=Fnnnn.TEST.FORT77, DISP=SHR
00040 //FORTCGO.SYSGO DD DSN=Fnnnn.TEST.DATA, DISP=SHR
00050 //
00060 //
EDIT
SUBMIT ..... ジョブの依頼
:
:
EDIT
END N
:
:
READY
ST
出力待ちを確認
READY
OUTPUT FnnnnA DEST(EHIME) NEWCLASS(A) ..... 出力先の切り換え
READY
LOGOFF
```

NVT 終了

#### (2) ROUTE 文を用いる方法

NVT で九大センターを呼び出す

```
LOGON TSS Fnnnn/#####
:
:
READY
EDIT TEST.CNTL NE
INPUT
00010 //FnnnnA JOB #####, CLASS=A
00020 /*ROUTE PRINT EHIME
00030 /*ROUTE PUNCH EHIME
00020 //EXEC FORT77, STEP=CGO
00030 //FORTCGO.SYSIN DD DSN=Fnnnn.TEST.FORT77, DISP=SHR
00040 //FORTCGO.SYSGO DD DSN=Fnnnn.TEST.DATA, DISP=SHR
00050 //
00060 //
EDIT
SUBMIT
:
```

EDIT  
END\_N

READY  
LOGOFF

NVT 終了

(ネットワーク室 電(内)2510)

## 2. 利用者講習会の開催について

標記の講習会を下記の要領で行ないますので、受講希望者は、申し込み期限までに共同利用掛(電(内)2505)へお申し込みください。なお、講習会準備の都合上、募集定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

### 記

#### (1) 統計解析システム SAS 講習会

- ・期 日 5月14日(火)
- ・対 象 センター利用経験者
- ・募集人員 30名
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室(3階)
- ・内 容 統計解析システム SAS の機能, SAS コマンドの使用法
- ・テキスト センターで用意
- ・時 間 割 10:00 12:00 13:30 15:00 16:00

5月14日(火)

SAS の使用法	昼休み	SAS の使用法	実 習
----------	-----	----------	-----

- ・申し込み期限 5月7日(火)

#### (2) N-1 ネットワーク講習会

- ・期 日 5月28日(火)
- ・対 象 センター利用経験者
- ・募集人員 40名
- ・会 場 大型計算機センター・多目的講習室(3階)
- ・内 容 ネットワークを通しての他大学センターの利用方法
- ・テキスト センターで用意
- ・時 間 割 10:00 12:00 13:30 17:00

5月28日(火)

NVT, RJE の利用法	昼休み	実 習
---------------	-----	-----

- ・申し込み期限 5月21日(火)